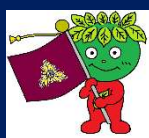


# 校長室通信



阿蘇西小学校 校長だより No.10  
令和6年9月4日

文責 田上邦宏

## 夏休みに「阿蘇市魅力ある学級・学校づくりキャラクターサミット会議」が行われました。

阿蘇市内の小中学校の代表児童生徒が集まり、夏休み中の7月26日（金）に一の宮中学校で行われました。本校からは6年生の増田護大さん、家入成望さん、吉良萌花さんの3人が代表で参加しました。3人は、「一人一人の思いや願いが集まる 児童会代表委員会」「一人一人の思いや願いが詰まった児童会目標と学級目標」「笑顔と学びがいっぱい 地域との交流」について、それぞれが発表しました。



「子供主体の学校づくり」を目指している本校にとって、学校のトップリーダーである6年生が、こうしたことを考え、発信することは、学校の活性化に大いにつながります。会議のタイトルにある「魅力ある学級・学校づくり」に向け、子供たちの更なる活躍を期待したいです。

## 【6年生】生き方を学ぶ交流会～大和卓也さん・忍さんをお招きして～を行いました。

夏休みに入る前の7月18日（木）、熊本地震の際に山崩れに巻き込まれた大和晃（やまとひかる）さんのご両親をお招きして、息子さんを探す活動をされてきた時の思いや願いを語っていただきました。6年生は総合的な学習の時間で、南阿蘇村の地震被害や復興を学び、阿蘇市の「ひと・まちづくり」に生かしていく学習活動を展開しており、その一つとして今回の学習を行いました。



子供たちが大和さんご夫妻あてに書いた感想には、命の大切さや思いを発信することの大切さ、親子の絆や感謝の気持ちなどが書かれていました。私もお話を聴かせていただきました。「子を想う親の心」や、真実（正しいこと）を知ることの大切さについて、改めて考える時間をいただきました。



大和さんご夫妻に、今回の学習のことを、写真と一緒に通信に掲載することをご相談すると、「晃のことを多くの方に知っていただきたいのでどうぞ。」とおっしゃってくださいました。熊本地震のことを決して風化させることなく、しっかりと継承していく責務があると改めて感じました。

6年生は、今週6日（金）に南阿蘇村の数鹿流ヶ滝展望所や震災ミュージアム KIOKUなどを訪れます。地域を高めようとする人々の思いや願いを、感じ取ってきてほしいと思います。

## 9月28日（土）実施の土曜授業は、地域体験活動を行います！

今年度2回目となる土曜授業は、教室を飛び出して、地域体験活動を行います。以前は、地区毎に熱心に行われていた活動ですが、コロナ禍で活動が見送られていました。また、PTAの地区委員さんにご協力いただいていたが、地区委員会が廃止になったことから、「地域とともにある学校づくり」に向けて持続可能な形で実施できないか検討し、3日（火）に各地区長さん方に集まっていただき、打合せ会を行いました。詳細については、後日すぐ一報でお知らせしますが、ご都合がつかれるようでしたら、活動の様子をご覧くださいと思います（土曜授業で日程の変更が難しく、雨天の場合も活動場所が確保できているため、実施予定です。但し、台風等による大雨が心配される場合は中止も含めて前日までに連絡します）。

【日時】9月28日（土）9：00 学校出発 →→ 活動開始9：30 前後～（雨天決行）

【活動場所】各地区の公民館（但し、跡ヶ瀬地区は的石公民館、狩尾1～3区は旧尾ヶ石小学校）

【活動内容】花植え（プランターに花を植えます。）

【学校から活動場所への移動】スクールバスや徒歩により移動します。

【下校】11：00 頃に活動を終了し、活動場所から下校します。